

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編 現代の国語（数研出版）						
副教材等	基本の現代文 大学入試共通テスト対策新装二版 デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧 新版 意味から学ぶ頻出漢字3000 国語小町（基礎編）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では説明をしっかりと聞くように心掛けて、自分事としてよく考えるようにしてください。單元ごとに示すポイントに沿って本文を読むようにすれば、何の心配ありません。授業で扱った内容が理解できているかどうかは、各単元で課される「感想」や「意見」の記述内容のほか、定期考査などで判断します。また、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える積極性なども評価に入ります。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書き手の意図をつかむ	a:話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 目指す世界の地図を作る	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
	文章の展開を把握する	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 時間とは何か	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。			
	対比を読み取る①	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 水の東西	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
	対比を読み取る②	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 里山物語	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の主張を粘り強く読み解いて自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
	事実と考えを区別する	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 写真を文章で説明する	b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類			

		や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。			
一学期	言葉の働きをとらえる①	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 語感トレーニング	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
	言葉の働きをとらえる②	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] コインは円形か	b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c:筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
	相手の考えを比較する	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 科学と非科学	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。			
	根拠を読み取る①	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 「差」という情報	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえて積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
	文章を読み解き、伝える	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 課題を発見し解決策を発表する (SDGs解説文)	b[話／聞]:「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c:課題2の内容を伝えるために、積極的に形式や表現に工夫を凝らして資料を作成し、学習課題に沿って発表しようとしている。			

三 学 期	根拠を読み取る②	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って、自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 「わらしべ長者」の経済学				
	話し言葉の技術を磨く	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話／聞]:「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c:相手に伝わるスピーチのしかたについて粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 適切に話す・聞く「スピーチ」				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (2 0) 時間
- ・書くこと … (3 0) 時間
- ・読むこと … (2 0) 時間

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	新編 言語文化 (数研出版)						
副教材等	高校生の古典文法 七訂版 シンプルスタイルシリーズ 古文単語301						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語文化では、「小説」と「古典作品」を学習していきます。「小説」では、近現代の有名な作品を中心に学習します。現代を生きる私たちが使用していることば（口語）で書かれた作品を見ていきましょう。「古典作品」では2、3年生で学ぶ古典探究への入門として、仮名文字の成り立ちや古典文法、親しみやすい説話や故事成語を中心に読んでいきましょう。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙力が定着している。 語句を適切に使い、整った文章が作成できる。 古典文法、漢文の句形などを習得している。	「書くこと」 指示語が示すものや、作品の主題を既定の文字数で表記できる。 作品を学んだうえで自らの意見をまとめ、他者と討論できる。 「読むこと」 古語を正しく読めている。 古文・漢文を正しく現代語訳できる。 作品を味わい、感想などを他者と共有できる。	積極的に授業に参加し、板書や質問をノートに書き取っている。 単元ごとに、主題への認識を深めようとしているとともに、他者の読みとの相違点・共通点を把握している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文に親しむ	a: 古文に親しむために成立やかな文字の成り立ちを学ぶ	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
	[教材] 児のそら寝(宇治拾遺物語)	b[読]: 作品のおもしろさがどこにあるか、正しく読めている c: 積極的に古典作品を味わおうと努力し、自身の体験なども振り返っている			
	世の中を見つめる目を養う	a: 古典の基本的な文法を習得する	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
	[教材] 丹波に出雲といふ所あり(徒然草)	b[読]: 作品のおもしろさがどこにあるか把握し、登場人物の性格なども正しく掴む c: 積極的に古典作品を味わおうと努力し、自身の体験なども振り返っている。			
	小説を味わう	a: 語句の意味や表現技法を習得し、物語の舞台背景なども正確に把握している	定期考査 小テスト	定期考査 感想文	ノート確認 意味調べ
	[教材] とんかつ	b[書]: 登場人物の心情を場面ごとに正しく理解し、それに対して自らの意見も乗せて記述できている c: 語彙力を高めようと努力するとともに、教材への理解を深めている			
二学期	今も昔も変わらぬ人の心を知る(1)	a: 古典文法を習得するとともに、和歌についての理解も深める	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
	[教材] 芥川(伊勢物語)	b[読]: 悲劇的な終わりが持つ余韻を味わい、自身の感想を乗せて作品を語れる c: 積極的に古典作品を味わい、現代人と似通った心情などを理解している			
	今も昔も変わらぬ人の心を知る(2)	a: 古典文法を習得するとともに、和歌についての理解も深める	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
	[教材] 筒井筒(伊勢物語)	b[読]: 昔の男女間での風習を知り、現代にも通じる恋愛観を読み取る c: 積極的に古典作品を味わい、現代人と似通った心情などを理解している			
	文豪の作品を味わう	a: 語句の意味や表現技法を習得し、物語の舞台背景なども正確に把握している	定期考査 小テスト	定期考査 感想文	ノート確認 意味調べ
	[教材] 羅生門	b[書]: 登場人物の性格および主張や作品のもつ主題、作者からの疑問提示を正確に受け取り、自分なりの答えを導き出す。導いた答えをもとに討論を行う c: 語彙力を高めようと努力するとともに、教材への理解を深め、作品と作者についての知識も習得する			
三学期	漢文に親しむ	a: 漢文の成り立ちを学び、返り点の法則や句形を学ぶ	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
	[教材] 訓読のきまり	b[読]: 漢文が日本人に与えた影響の大きさについて知り、古文、ひいては現代の口語文に至るまでの流れを学ぶ c: 漢文についての基礎的な知識を習得し、積極的に書き下し文、口語訳ができていく			

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編 論理国語（東京書籍）						
副教材等	新版 意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社） 基本の現代文 大学入学共通テスト対策新装版（尚文出版） ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館書店） 名作を味わう 定番小説選（数研出版） 基礎現代文 大学入学共通テスト対策新装版（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・1年生の時には「現代の国語」で評論というジャンルを学びました。2年生では、それをさらに発展させて、より論理的な文章に触れていきます。
- ・教科書の本文については、授業の解説をよく聞き、板書したノートや学習用ノートなどを活用して、よく復習すること。
- ・漢字の小テストを行うので、意味から学ぶ頻出漢字 3000 を繰り返し解いて勉強しておくこと。
- ・パフォーマンス課題やグループワーク等も行います。わからないところは質問に来るように。

2 学習の到達目標

- 【知識及び技能】
 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】
 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を理解し、適切に扱っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効率的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	広がる風景	a:対話と会話の違いを考え、概念を使い分け、理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 対話とは何か	b[読]:「読むこと」内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
	広がる風景	a:本文で使われている接続表現について、「接続」「根拠」に当たるものを指摘できる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 世界をつくり替えるために	b[書]:「書くこと」「自分の世界をつくり直していく」ために、必要なことを根拠とともに文章にまとめられるようになる。 c:筆者の考え理解し、自分の中の「種」について主体的に考えられている。			
二学期	考える手がかり	a:ことわざや慣用句について、本来の意味を知り、正しく使うことができるようになる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 「ふしぎ」ということ	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて、具体例とそこから導かれる答えを捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の主張を読み解いて自分の考えを深め、「あたりまえ」の世界に、「ふしぎ」に思う視点を持つようとしている。			
	現実の中で	a:本文に使われている語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨いている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 思考の肺活量	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
	現実の中で	a:「安心」という言葉の持つ、様々な側面を理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 安心について	b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c:スヌーピーの例をもとに、積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
三学期	ものの見方	a:四字熟語について、代表的なものをいくつか上げ、実用的な知識を取得している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 弱肉強食は自然の摂理か	b[書]:「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要約をまとめることができる。			

		c:粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。			
	働くよろこび	a:本文に出てくる日本の美意識に関する言葉について、ファッションと結びつけながら正しく理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] はじめに「言葉」がある	b[読]:「読むこと」内容や構成、論理の展開などについて、言葉の言い換えに着目して要旨や要点を把握している。 c:ファッションを言葉で表すことについて、自分の考えを持ち他の人に説明することができる。			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (1 5) 時間
- ・書くこと … (2 5) 時間
- ・読むこと … (3 5) 時間

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編 論理国語 (東京書籍)						
副教材等	意味から学び 意味の力を考える 漢字と語彙 ビッグマスター2700 (尚文出版) ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館書店) 名作を味わう 定番小説選(数研出版) LT 現代文1 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・3年生でも引き続き、論理的文章の読解を中心に学習します。
- ・定期的に漢字の小テストを行います。漢字ドリルを繰り返し解いて勉強しましょう。
- ・パフォーマンス課題やグループワーク等も行います。積極的に参加しましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を理解し、適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	時代をひらく	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 最初のペンギン				
	時代をひらく	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 豊かさと生物多様性				
	新しい視点から	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] カフェの開店準備				
二学期	科学と人間	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:アンドロイド研究における「人間」に対する筆者の考えを捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 鏡としてのアンドロイド				
	豊かな認識	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 科学的「発見」とは				

	図表の読み取り方	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 資料を活用して論述しよう	b[書]:「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:テーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し、自分の意見を明確にして論述しようとしている。	小テスト	ノート	
	知のゆくえ	a:新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] もう一つの知性	b[読]:「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合おうとしている。	小テスト	ノート	
三 学 期	知のゆくえ	a:語句の意味や使い方を理解し、適切に使用できる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 知識における作者性と構造的性	b[書]:「書くこと」において、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要約をまとめることができる。 c:情報と知識について理解を深め、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	小テスト	ノート	
	明日をみつめて	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 未来のありか	b[読]:「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:学習課題に沿って「未来」についての筆者の主張を踏まえううえで、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。	小テスト		

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (25) 時間
- ・読むこと … (45) 時間

令和8年度 国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房） 国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。

また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

- ・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
- ・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
- ・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
- ・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・活動を通し自己を見つめると共に、発表などの言語活動によって国語力の向上と社会生活の充実を図る態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	漢字の読み書きや慣用句の意味を身に付けている。	小論文、新聞作成、スピーチといった單元ごとに必要な国語の力を身につけ、実生活に活かせる工夫までできている。	積極的に授業を受け、予習や復習を怠らず、発表やグループワークに積極的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	価値観について		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・さまざまな価値観を知り、(価値観プリント記入、集計、将来像) 将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方(DVD、インタビュー)から学ぶ。 ・ことばの持つ力(DVD「ことばの力」)について考え、書く。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[話/聞]: 授業の中で考えたことを話し合える。話し合ったことを発表し、聞くことができる。生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを述べる。 c: インタビューや発表などを積極的に行う。			
	小論文・自己PR文		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく ・600字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[書] 自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 c: 現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。			
二学期	説明シリーズ		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・図や地図から説明する文章を作る ・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[書] グループワークで互いに説明をして、わかりやすい文章が確認する。自分が作成した説明文で伝わるか考え、文章を書く。 c: 伝わりやすい説明になるために創意工夫を凝らそうとしている。			
	3分間スピーチシリーズ		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[話/聞] 内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっているか。ジェスチャーや具体例などで工夫を凝らしているか。 c: スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に発表に取り組もうとしている。			

三 学 期	思い出新聞シリーズ	a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b[書]:レイアウトや構成に工夫が見られる。限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。 c:新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。 ・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (2 0) 時間
- ・書くこと … (4 5) 時間
- ・読むこと … () 時間

令和8年度 国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房） 国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。

また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

- ・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
- ・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
- ・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
- ・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・活動を通し自己を見つめると共に、発表などの言語活動によって国語力の向上と社会生活の充実を図る態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	漢字の読み書きや慣用句の意味を身に付けている。	小論文、新聞作成、スピーチといった單元ごとに必要な国語の力を身につけ、実生活に活かせる工夫までできている。	積極的に授業を受け、予習や復習を怠らず、発表やグループワークに積極的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	価値観について		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・さまざまな価値観を知り、(価値観プリント記入、集計、将来像) 将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方(DVD、インタビュー)から学ぶ。 ・ことばの持つ力(DVD「ことばの力」)について考え、書く。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[話/聞]: 授業の中で考えたことを話し合える。話し合ったことを発表し、聞くことができる。生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを述べる。 c: インタビューや発表などを積極的に行う。			
	小論文・自己PR文		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく ・600字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[書] 自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 c: 現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。			
二学期	説明シリーズ		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・図や地図から説明する文章を作る ・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[書] グループワークで互いに説明をして、わかりやすい文章が確認する。自分が作成した説明文で伝わるか考え、文章を書く。 c: 伝わりやすい説明になるために創意工夫を凝らそうとしている。			
	3分間スピーチシリーズ		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。	a: 副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b:[話/聞] 内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっているか。ジェスチャーや具体例などで工夫を凝らしているか。 c: スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に発表に取り組もうとしている。			

三 学 期	思い出新聞シリーズ	a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。 b[書]:レイアウトや構成に工夫が見られる。限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。 c:新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ノート
	[教材] ・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。 ・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。				

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (2 0) 時間
- ・書くこと … (4 5) 時間
- ・読むこと … () 時間

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編 古典探究（東京書籍）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館書店) シンプルスタイル 古文単語 301（尚文出版） 高校生の古典文法 七訂版（啓隆社） 新明説総合古典文法 基本練習ノート（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・1年次に引き続き、古典の基本的な文法事項の習得と読解に取り組んでもらいます。
- ・単語帳『シンプルスタイル 古文単語 301』を各自で覚えて、古典の語彙を増やしていきましょう。また、文章の内容理解や、表現力を問うパフォーマンス課題を実施します。積極的に取り組んでください。
- ・『高校生の古典文法』を自分でよく見て、気づいたことはどんどん書き足していく習慣をつけましょう。
- ・漢文に関しては訓読のルールを忘れないように復習しておきましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説話に親しむ	a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、説話を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」				
	随筆を読む	a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『方丈記』 「ゆく河の流れ」				
	日記を読む	a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。また、作品の文章の種類とその特徴についての理解を深めようとしている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『土佐日記』 「馬のはなむけ」				
	作り物語を読む	a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために	定期考査	定期考査	

	〔教材〕 『竹取物語』 「天の羽衣」	必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c: 平安時代の文化や伝統に対する関心を深めようとしている。	ワークシート	ワークシート ノート	ノート 行動観察
二 学 期	日記を読む	a: 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、登場人物の心情を理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	故事と成語	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c: 漢文の読み方やきまりを確認し、故事成語の内容を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	軍記物語を味わう	a: 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c: 漢文の読み方やきまりを確認し、故事成語の内容を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『平家物語』 「壇ノ浦の合戦」	a: 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈深め、作品の価値について考察している。 c: 作品の内容を読み取り、登場人物の心情、行動、出来事を正確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」				
三 学 期	史記を読む		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (0) 時間
- ・読むこと … (70) 時間

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編 古典探究（東京書籍）						
副教材等	新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版） みるみる覚える古文単語300三訂版（いいずな書店） ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・2年次に引き続き、古典の基本的な文法事項の学習および文章の読解に取り組めます。
- ・単語帳を活用し、古文に関する語彙を身につけましょう。
- ・文章の内容理解や表現力を問うパフォーマンス課題を実施します。積極的に取り組んでください。
- ・漢文に関しては、訓読のルールを忘れないように復習しておきましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随筆を味わう	a: 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『枕草子』 ありがたきもの		小テスト		
	歌物語を楽しむ	a: 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c: 積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『伊勢物語』 初冠		小テスト		
二学期	歴史物語を読む	a: 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]: 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c: 積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『大鏡』 道長、伊周の競射		小テスト		
	作り物語を味わう	a: 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]: 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c: 積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『源氏物語』 若紫		小テスト		

三 学 期	諸子百家の思想	a: 人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 儒家の思想 人の本性とは 道家の思想	b[読]: 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c: 老子と陶潜が描く理想郷について、積極的に読み取って比較・検討しようとしている。	小テスト		

※表中の観点について a: 知識・技能 b: 思考・判断・表現 c: 主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準 b [] について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (0) 時間
- ・読むこと … (70) 時間

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	(学) 国語演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	現代文 解法のテクニック 2 三訂版 (啓隆社)						
副教材等	三訂版 ほんものの力がつく 現代語練習帳 ことのは (いづな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代文を読み解くためには、文章を読み解くための「解き方」と、ことばの意味を理解する「語彙力」が必要です。国語演習の授業では様々な問題文を解き、現代文の「解き方」を身につけることを目標とします。文章の構造や接続詞などを理解して読み解く論理的な思考に基づく「解き方」の方法論を身に付け、初見の文章にも対応できるようになりましょう。

また、「語彙力」は評論や小説を読み解くために必要な力です。重要単語や大学入試の頻出漢字を成り立ちから学び、身に付けていきましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け読解に必要な語彙力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的、批判的に考える力を伸ばすことで文章の中から解釈の根拠を見出す力をつける。
演習を繰り返し、初読の問題に対応する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な語彙に関する知識を増やし、意味と使用方法を理解することができる。	＜小説＞ 客観的に心情を読み解き、記述することができる。 ＜評論＞ 筆者の主張や意見を論理的に読み解き、記述することができる。	毎回の予習を行い、積極的に授業に参加している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論の読み方 ・評論を読むときのポイントを学ぶ。 ・空欄前後の関係から当てはまる語句を考える。	a:語彙の意味や使用方法を理解することができている。 b(読):構造主義・時間論など理論的な文章を読み、空欄にされている箇所を補い説明することができたか。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	指示語 ・空欄前後の関係から当てはまる内容を考える。	a:各指示語の使用法やそれが示す意味を理解することができる。 b(読):文脈の成り立ちを考えて指示語の内容を正しく読み取ることができたか。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	内容説明 理由説明 ・読み手に伝わりやすい言葉を使用し説明する。言い換え表現を探す。	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる b(読):表現が言い換えられている箇所が示す内容を説明することができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	キーワード・キーセンテンス ・キーワード・キーセンテンスをとらえ、論の展開を理解する。	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる。 b(読):全体の文脈から内容把握をして、適切な脱文箇所に指示された文を挿入することができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート ト	ノート 行動観察 その他 提出物
	話題の把握と筆者の主張 ・キーワードを把握し、話題になっている事柄を読み取る。本文の展開を押さえ、筆者の主張をつかむ。	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる b(読):本文の中からキーワードとなる言葉を探し、要旨となる言葉を捉えることができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
二学期					

	段落構成	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる。 b(読):指示語や接続語について理解し、本文全体の構成をつかむことができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	・段落の内容を読み取る。				
	筆者の主張	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる。 b(読):指示語や接続語について理解し、本文全体の構成をつかむことができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	・本文の展開を押さえ、筆者の主張をつかむ。				
	要約	a:語彙の意味や使用方法を理解することができる。 b(書):繰り返されるキーワードを中心に、文章の構成を把握し、要約をすることができる。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	・キーワード・キーセンテンスから本文の主旨を把握する。				
	小説の読み方 心情理解 内容説明 理由説明	a:語彙の意味や使用方法を理解することができたか。 b(読):本文の心情が表れている箇所に気がつき、登場人物の心情を正しく読み取ることができたか。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察 その他 提出物
	・小説を読むときのポイントを学ぶ。 ・登場人物の言動に注目する。 ・描かれている場面や登場人物の状況を把握する。				
三学	表現	a:語彙の意味や使用方法を理解することができたか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート

期	・比喩表現に注目して登場人物の心情や状況を読み解く。	b(読):本文中の比喩表現が具体的に何を表しているのかに気がつくことができたか。 c:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。	ワークシート		行動観察 その他 提出物
---	----------------------------	--	--------	--	--------------------

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (30) 時間
- ・読むこと … (40) 時間